



信 濃 中

連動する情報は
学校HPから

学校だより 第3号 令和8年(2026年)10月30日発行

やり切った笑顔が輝いた学校祭～協働から学ぶ、未来へ繋がる力～

生徒会指導部部長

向寒の候、保護者や地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と多大なる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。朝夕の心地よい冷気とともに秋の深まりを感じる10月2日(金)に、今年度の信濃中学校学校祭を開催いたしました。

今年度の学校祭は、開幕直前に予想外の試練に見舞われることとなりました。あいにく直前に学級閉鎖があり、そのクラスのステージ発表および午後に予定されていた学年合唱交流会が延期となる事態が発生したのです。これまで限られた時間の中で懸命に練習を重ね、本番に向けて気持ちを高めてきた生徒たちの悔しさや無念さを思うと、指導に当たる教職員としても大変胸が痛む思いでした。

しかし、生徒たちは決して立ち止まりませんでした。学級閉鎖になったクラスのステージ発表や学年合唱発表会は、10月14日の5・6時間目に改めて実施しましたが、延期となった期間も気持ちを切らすことなく思いを一つにし、当日は練習の成果を存分に発揮した素晴らしい発表を披露してくれました。アクシデントを前向きに乗り越えたことで、クラスの絆はよりいっそう強固なものになったと感じております。

一部の日程変更こそあったものの、学校祭当日は全校生徒のエネルギーが弾け、学校全体が大きな感動と熱気に包まれました。私は今回、生徒会書記局の指導を担当させていただきましたが、限られた準備期間の中で知恵を絞り、裏方として奔走するメンバーたちの頼もしい姿を間近で見守ってまいりました。

そして何より私の胸を強く打ったのは、各クラスがステージ発表を終えた直後に生徒たちが見せた表情です。そこには、仲間とともに悩み、励まし合いながら持てる力をすべて出し尽くした「やり切った感」が満ちており、誰もが清々しく輝くような笑顔を浮かべていました。一つの共通の目標に向かって意見を交わし合い、時に葛藤しながらも「皆と協力して一つのプロジェクトを完成させる」という今回の経験。これは単なる行事の成功にとどまらず生徒たちがやがて成長し、社会人となって様々な課題に直面した際にも、自分自身の力で未来を切り拓くための大きな糧になると確信しております。学校祭という大きな行事を通して、生徒たちはかけがいのない力を育んでくれました。

この学校祭で培った自信や達成感、そして仲間との強い絆を、これからの日々の学校生活や次の目標へとしっかりと繋げてまいります。今後とも信濃中学校の生徒たちの挑戦と成長を、温かく見守っていただきますようよろしくお願い申し上げます。



学校祭を終えて

～生徒の作文から～

1年 組

学校祭の準備は夏休み頃から始まっていたけど、ダンスや道具作りの作業を始められたのは本番1ヶ月前くらいだったから、最初は本番までに完成させられるか心配だったけど、一つ一つの総合の時間を大切にしていって、全員で協力して作業をしたら、本番にギリギリ間に合わせることができました。また、本番直前で休んでしまった人もいたけど、その分も全員でカバーし合って、できる限りのことをやれたのは良かったと思いました。クラス全員で協力して一つのものを作るということはなかなかないけど、その機会を大切に、来年の学校祭でも成功させられるようにしていきたいです。

2年 組

今年のステージ発表は、1ヶ月の準備期間で発表を完成させることの難しさを、発表をつくるプロジェクトメンバーとして関わったからこそ感じました。練習時間の途中で計画性のなさが出たところがあったので、事前の計画をこれから大切にしたいです。

合唱練習では、パート全員で良い練習にするにはどうしたらいいかを考え計画を立てましたが、先生に手助けしてもらった部分が多くあるので、自力でパート練習を進めていけるようにしたいです。これからは、学校祭で生まれたクラスの団結をそのままに、3年生に向けて様々な活動に熱心に取り組んでいこうと思います。

3年 組

学校祭の練習で最初は劇に出る人たちの意見があまりまとまらなくて、細かいところを決めるのに苦戦もしました。でも、メンバーも決まって、曲も決まって目標ややるべきことが明確に決まるとそこに向かって協力して練習することができました。ダンスの練習では教え合って細かいところも確認したり、チームごとに見せ合ってアドバイスするなどクラス全体がひとつのものに向かって本気で練習できてるなと思いました。本番では幕のハプニングがあったり、練習通りにいかないこともあったけど、それぞれが練習してきたものを全部出しきることができて大成功で終わることができました。クラスの目標にしていた、「自分たちも見ている人も楽しく」という目標に合った劇を作り上げられたと思います。



第26回東日本学校吹奏楽大会で金賞受賞の快挙！

本校吹奏楽部は、8月5日に行われた第71回吹奏楽コンクール札幌地区大会の中学生 B 編成の部で「ゴールド金賞」を受賞、続く8月28日、第71回北海道吹奏楽コンクールでも「ゴールド金賞」に輝き、第 26 回東日本学校吹奏楽大会への出場権を獲得しました。そして、10月10日、石川県金沢市で行われたこの大会でも、見事「金賞」を受賞する快挙を達成しました。吹奏楽部員の作文を紹介いたします。

第26回東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞して

吹奏楽部 五役代表 3年 組
3年 組
3年 組

この度、私たち信濃中学校吹奏楽部は、10月10日、石川県金沢市の金沢歌劇座にて行われた第26回東日本学校吹奏楽大会に出場し、目標であった金賞を受賞しました。今年度3年生が決めたテーマは、「掴む」。それには、勇気を出して自分の手で夢とチャンスをつかむ、誰の手を離さず・見捨てず掴み続けるという意味が込められています。コンクールの練習の期間では、仲間と意見がまとまらないことなどたくさんの壁がありましたが、今年のテーマ「掴む」を胸に、最後は手を取り合い、本番に臨むことができました。また、この遠征を通して、どれほど自分たちが人に恵まれているかを知ることができました。

全校生徒の皆様、先生方、保護者の皆様、これまでの期間、多大なる御支援と応援をありがとうございました。出発前に声をかけてくださったことや、協賛金などの御協力により、私たちの納得のいく演奏ができました。きっとこれらがなければ今回の結果を得ることはできなかったと思います。これから、活動だけでなく過ごし方や挨拶など日頃から応援されるべく団体として感謝を返していきますので、引き続き応援よろしくお願いします。

